

FDA 便り～働くを楽しもう～ 第11号

2021年(令和3年)7月15日



特定非営利活動法人
FUTURE DREAM ACHIEVEMENT

FDA のホームページが、

リニューアルされました。(2021年5月より)

URL: <http://www.fda.jp>



就労定着支援を7月1日よりFDAで開始いたします!

就労定着支援とは、卒業後もFDAの職員が仕事や生活面の支援をし、長く働き続けるための様々なサポートをする制度です。

FDA卒業時は大丈夫と以为ても、働き始めると様々な変化(仕事の量や内容、自身や同僚・上司の異動など)により、仕事が上手いかなくなったり体調を崩してしまったりと、悩みを抱えてしまうケースも少なくありません。

そんな時は一人で悩まず、就労定着支援を活用し、安心して働き続けられる環境を築いていきましょう!

コロナ禍での就職決定!



～卒業生体験記～

K・Mさん

(所属:FDA川崎事業所<就労継続B型>)

私がFDAに通うことになったきっかけは、働けなかった4年前当時FDAの理事長だった成澤さんが出演していたテレビの特集を観た事です。

FDAに通う前の気持ちは、もう一度働けるようになるためには、どんな訓練をするのだろうか、と心配でした。FDAに通い始めて自分の中で変化したことは、私は口下手なのですが、働く上で自分より若い世代の人との関わり方も身につけなければいけない、と訓練生たちと過ごす中で思うようになりました。

FDAの活動で、楽しかったこと・良かったことは、読書の機会があったことです。フィジカルプログラムで図書館に行ったり、読書共有の講義で色々な作家を知ることが楽しみでした。

就職が決まった時の気持ちは、目の前が白黒からカラーになったような、大きい喜びがありました。就職先では、職員の経歴を検索するデータベース作成に携わっています。データ入力とPDF作成が主な担当業務です。

今後の目標は、タイムスケジュールを守りつつグループで仕事を進めていくために必要な、後輩への指導力を身につけることです。

※FDA通信内の情報の取り扱いにはご配慮いただき、転載等をご遠慮頂きますようお願い申し上げます。

新しい仲間のご紹介

FDA 川崎事業所・就労継続 B 型所属

朝長景悟さん<令和3年4月7日入所>

(神奈川県立大師高等学校卒)

できるだけ早く自立できるようになりたいです。

利用者さんの創作作品『パターンアート』

<FDA 川崎移行事業所 石井知洋さん>



我々は様々な事情を抱えた就労困難者の自立を支援し、社会参加のお手伝いをしております。我々の活動(利用者の就労の実現・生活の質の向上)を、ぜひ応援してください。

<個人・団体>

賛助会員:年会費 5 千円 正会員:年会費 1 万円

<http://www.fda.jp/member.html>

詳しくは、上記ページまでアクセス下さい。

「新入職員インタビュー」:山田圭介さん

<所属:FDA 溝の口事業所(就労継続 B 型)>

・これまでのご経歴を、簡単に教えていただけますか?
大学卒業後、10年間、設備設計という仕事をしています。公共施設(学校、水処理場、市町村の施設など)の空調設備(エアコン等)や衛生設備(トイレや流しの水道)の設計図を作ったり、工事現場の監理(図面通りに工事が行われているかを確認する)等の仕事を行っていました。

・趣味や特技がありましたら、教えてもらえますか?

趣味は体を動かすことが好きです。小学校の時は放課後ずっと校庭で遊んでいるような子供でした。中学からは部活でバレーボールをはじめ、今でも週末に楽しんでやっています。昨年からのコロナ禍で在宅勤務等が増え、思うように運動が出来ない日が続き、体重が増えたこともあり、昨年から自宅でトレーニングをするようになりました。また食事制限も行い、体重は元に戻ってきました!リバウンドしないように継続したいです!

・FDA では、どのような支援をしていきたいですか?

これまでは就労支援とは全く異なる仕事をしていました。FDA での仕事は私にとって新しい事の連続で慣れないこともたくさんありますが、逆に私のような全く異なる仕事を経験してきたということが私の強みでもあると思いますので、これまで社会人として経験してきたことを活かして、皆さんが就労した後に長く働けるような方になっていただけるような支援が出来ればと思っています。

・好きな食べ物やお料理は、なんですか?

鶏の唐揚げが好きです!他には塩分の多いものが好きですが、体によくないので食べ過ぎないようにしています。また、野菜を多く取るようにしたいと思っています。あとは好き嫌いは少ない方だと思っています!最近近所の流行っているパン屋に行く機会が増えていますが、これも食べ過ぎないように自分自身と闘っています。